

稲WCSの生産調製技術習得支援

東近江地域振興局農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

竜王町山中生産組合では平成16年から稲WCSに取り組み、今年は14.2haに栽培が拡大している。

生産された稲WCSは町内の畜産農家5戸(酪農2、肥育3)に供給されているが発酵品質が均一でなく、畜産農家からより高品質な稲WCSの希望があり、今年から稲WCSに乳酸菌を添加することが計画された。

そこで、乳酸菌の添加と併せて、適期刈り取りについても支援することとした。

【普及活動の成果】

刈り取り適期について

山中生産組合が今年作付けされた飼料稲専用種各圃場に調査地点を設け生育状況を調査した。刈り取り適期について助言を行ったところ、専用種については9月27日～10月19日に刈り取られ、概ね適期を指導することができた。

乳酸菌の添加について

稲WCSに乳酸菌への添加は初めてであり、使用する乳酸菌や生成ロール価格について相談を受け、調査の上、協議を行った。

今回の乳酸菌添加については肉牛農家の希望から始まったこともあり、肉牛農家分ほぼ全量に添加(679/887個)した(酪農家分については未添加)。

使用した乳酸菌はバイオパワーSで今年のロール個数1,396個中679個と約50%に添加した。価格としては乳酸菌添加は無添加のものに比べ1ロールあたり300円高く設定されたが、生産組合・畜産農家共に折り合いのつく金額となった。

サイレージ状態の確認



生産者と畜産農家でサイレージ内容の確認を行った。どういう状態のものが良いのか?(あるいは悪いのか)を見てもらうことで、次年度の生産に役立てている。生産者・畜産農家がともに確認し合うことは、耕畜連携の一つとして今後も期待できる事例と考える。

なお、サイレージ分析の結果V-Scoreで乳酸菌添加物は概ね90点、未添加は70点台と差は出ており(分析継続中)、これらのデータを元に今後は乳酸菌の適正な活用について引き続き支援したい。

表1 飼料稲生産面積と利用畜産農家経緯

年	生産面積(ha)	利用畜産農家
平成16年	1.8	酪農2戸
平成17年	3.3	酪農2戸・肥育2戸
平成18年	8.6	酪農2戸・肥育2戸
平成19年	13.3	酪農2戸・肥育3戸
平成20年	14.2	酪農2戸・肥育3戸

表2 生育調査結果

草種	出穂期	草丈cm	茎数本	黄熟期予想
クサホナミ	8/28	124.2	11.1	10/9
クサノホシ	8/31	127.8	9.9	10/14
シシクワズ	8/15	129.2	9.8	9/29
リーフスター	9/2	124.2	11.1	10/20